

I 事業報告

1 事業概要

市から指定管理事業を受託して11年目となる令和7年度の展示事業は、大河ドラマの放映による浮世絵への関心が高まる中で開催した春季特別企画展「潜入！江戸の浮世絵出版社」が63日間で5,804人と、前年の1.2倍以上の観覧者を集めて4月と5月は過去最多の月間観覧者数を記録し、幸先の良いスタートをきった。期間を延ばして作品を入れ替え、内容の充実と質の向上を図った企画展、当館が誇る歌川広重「木曾海道六拾九次之内」の出版190年を記念した秋季特別企画展も好評で、観覧者の約11%を占めるインバウンドも増加し、観覧者総数は、令和6年度を930人上回る23,558人と過去最多を更新した。また、観覧料収入額も、前年度を198,000円上回る7,413,140円となった。

開館後24年を経過し、老朽化や機能低下が目立つ展示環境整備にも取り組んだ。11月に館内数カ所の壁面劣化部を補修、1月に2階企画展示室のガラス展示ケース内のクロス張り替え、3月には2階展示室の仮設展示壁を撤去し、新たな展示用設備としてスタンド式ガラスケース10台を設置した。今後も引き続き市と協議しながら、当館の大切な使命である作品の保存、展示環境の整備を計画的に進めていく予定である。

教育普及事業では、「木曾海道六拾九次之内」出版開始190年を記念した秋季特別企画展に合わせ、各分野でご活躍の先生方による講演を通して、多角的な視点から本シリーズ作品への理解を深めた。2月17日からは「第22回広重賞恵那市こども版画コンクール作品展」を3月1日まで開催した。前回より119点多い2,355点の応募作品の中から選ばれた優秀賞20点、特別賞11点、奨励賞17点、入選124点、合計172点の作品を展示し、多くの市民の皆様にご覧いただいた。なお、今回から、岐阜県ポーランド交流協会主催の青少年交流事業が始まり、当館学芸員1名と中学生の入賞者2名が3月26日から30日に、日本美術技術博物館マンガや付属日本語学校を訪問し、交流と連携を深めることができた。

スポンサー制度は、令和7年4月から令和8年3月までの1年間、水曜日3社と金曜日3社から継続してご支援をいただくことができた。水曜日と金曜日の観覧入場者は7,767人で、前年度より195人増え、総観覧入場者23,558人の約33.0%を占めた。

事業の充実には欠かせない美術作品の収集では、ふるさとえな応援寄付金の「美術館を応援」に集まった寄付金を積み立てた市民のまちづくり基金13,376,000円を活用し、恵那市が購入した歌川広重や葛飾北斎、溪斎英泉の7点の貴重な作品を収蔵することができた。

収益事業は、品ぞろえが充実した館内とウェブのショップのグッズや図録の売り上げが好調で、公益事業の推進に大きく寄与した。

1. 展示事業

① 特別企画展・特別展観

	事業名	事業概要	開催期間・観覧者数
1	潜入！ 江戸の浮世絵出版社	浮世絵版画（錦絵）の企画・制作・販売を統括した、江戸時代の出版社・版元（地本問屋）に注目。葛屋重三郎（耕書堂）をはじめ、佐野屋喜兵衛（喜鶴堂）、竹内孫八（保永堂）、葛屋吉蔵（紅英堂）、魚屋栄吉といった版元たちの仕事を掘り下げ、浮世絵師・歌川広重をプロデュースした主要な版元や、出版流通の様相と絵師・彫師・摺師による制作の裏側を紹介した。	【前期】 4月3日（木）～ 5月6日（火・振休） 【後期】 5月10日（土）～6月15日（日） 観覧者数 5,804人
2	出版190年記念 溪斎英泉・歌川広重 木曾海道六拾九次之内 —摺り違いの愉しみ—	溪斎英泉と歌川広重による「木曾海道六拾九次之内」は、木曾街道（中山道の異称）を主題とする70枚揃のシリーズである。出版開始から190年を記念する本展では、当館所蔵の「木曾海道六拾九次之内」計192点を、3期にわたり宿場ごとに全点公開。増し摺りに伴う複数のバリエーションや異版（変わり図）など、浮世絵版画の「摺り違い」を見比べる愉しみを提案した。	【前期】 （日本橋～追分） 8月28日（木）～9月28日（日） 【中期】 （小田井～落合） 10月2日（木）～11月3日（月・祝） 【後期】 （中津川～大津） 11月7日（金）～12月7日（日） 観覧者数 9,382人

② 企画展

	事業名	事業概要	開催期間・観覧者数
1	三代豊国&国芳の謎解き！木曾街道	三代歌川豊国「木曾六十九駅」と歌川国芳「木曾街道六十九次之内」を出品。両シリーズは、描かれた人物と宿場のつながりを読み解く楽しさがある。さらに、その多彩な内容から、庶民間で共有された豊かな文化を垣間見ることができる。本展では、浮世絵を通して、江戸時代のエンターテインメントを紹介した。	【前期】 6月19日(木)～7月21日(月祝) 【後期】 7月25日(金)～8月24日(日) 観覧者数 3,387人
2	中山道広重美術館・日本美術技術博物館マンガ共同企画展 マテウシュ・コウエクさまよう街	ポーランド共和国のクラクフ市を拠点に活躍するアーティスト、マテウシュ・コウエク氏は、浮世絵に見られる明瞭な描線や広重作品の構図と風景描写を巧みに取り入れつつ、それらを自身の独自のスタイルへと昇華させている。本展では、クラクフ市と東京の風景をテーマとし、時代や場所が交錯する独特の世界観で描かれた作品30点を紹介した。	観覧者数 3,387人
3	浮世絵に描かれた忠孝の士たち	封建社会では、主君に尽くし親に孝行する「忠孝」の精神は、武士にとって果たすべき義務であり、それを全うすることが美徳とされた。幕命により庶民にもその精神は浸透していた江戸時代、主君や親に忠孝を尽くす士を取り上げた戯曲は庶民の心を強く捉えた。本展では、三大敵討物に数えられる「忠臣蔵」や「曾我物語」などを主題とする浮世絵を紹介した。	12月11日(木)～ 令和8年1月18日(日) 観覧者数 1,348人
4	浮世絵東海道の旅の空 —隸書東海道を中心に—	江戸と京都を結び、多くの人々が往来した東海道。その道中は富士見の名所や太平洋を望む景勝地などを多数擁し、旅人の目を楽しませた。本展では、風光明媚な街道風景を広角で捉えた構図と、丁寧かつ鮮やかな摺りが魅力の歌川広重「東海道」(通称・隸書東海道)を中心に、東海道の旅路を紹介した。	【前期】 (日本橋～掛川) 1月22日(木)～2月23日(月・祝) 【後期】 (袋井～京都) 2月27日(金)～3月29日(日) 観覧者数 3,637人
5	日本美術技術博物館マンガ(ポーランド共和国クラクフ市)の協力の下、2階「浮世絵ナビルーム」に絵師の筆遣いや画面構成を体験できるコーナーを新設し、美術館全体で浮世絵の世界を楽しめるように工夫した。		
6	令和8年度 実施展覧会の企画準備		
7	令和9年度 企画展に関する調査、研究		

2. 教育普及事業

	事業名	内 容	時 期
1	連続講座（全6回） 出版190年記念 「木曾海道六拾九次之内」大解剖	江戸時代の旅行文化、秋里籬島『木曾路名所図会』、浮世絵の出版流通、そして二人の浮世絵師の画業など、本シリーズを取り巻くさまざまな要素を掘り下げ、各分野でご活躍の先生方による講演を通して、多角的な視点から「木曾海道六拾九次之内」への理解を深めた。 ① 4/12(土)「「木曾海道六拾九次之内」入門」常包 美穂 氏 ② 5/17(土)「江戸庶民の旅と歩行」谷釜 尋徳 氏 ③ 6/21(土)「名所図会とその周辺」藤川 玲満 氏 ④ 9/7(日)「錦絵の生産と流通」大久保 純一 氏 ⑤ 10/4(土)「溪斎英泉が描いた世界」松田 美沙子 氏 ⑥ 11/9(日)「歌川広重の画業と生涯」浅野 秀剛 氏 参加者数(全6回) 257人	
2	学芸員実習の受け入れ	学芸員資格取得希望の学生等を対象に募集したが、希望者なし。	—
3	ミュージアムナイト (夜間開館)	恵那市商店街振興組合による「恵那納涼夏まつり(盆踊りの夕べ)」に合わせて午後8時まで終日無料開館とした。 観覧者数 293人	8月14日(木)午後8時まで
4	夏休みイベント	「三代豊国&国芳の謎解き!木曾街道」 ・ワークショップ「浮世絵“推し”缶バッチを作ろう」 「マテウシュ・コウエク さまよう街」 ・アーティストトーク(通訳付き) ・ドローイングワークショップ	7月19日(土)、8月14日(木) 午前10時～12時、午後1時～3時 8月10日(日)午後1時半～ 8月11日(月・祝)午後1時半～
5	こども版画コンクール 応援講師の派遣	こども園3園と小学校3校から、こども版画コンクール参加作品制作授業に講師派遣の希望があり、延べ9日、延べ18人の応援講師を派遣した。	10月30日(木) 11月10日(月)・19日(水)・21日(金) 12月1日(月)・5日(金)・10日(水)・19日(金)・24日(水)
6	第22回恵那市こども版画コンクールの開催	子どもたちが、自分の生まれ育ったふるさとや身近な人々との関わりを見つめ、発見したこと、感じたことを版画にすることで作品を創り出す楽しさを経験し、自己を表現して周りの人と共感し合うことを目的として実施。市内のこども園、保育園、小中学校、特別支援学校から2,355点の応募があり、優秀賞20点、特別賞11点、奨励賞17点、入選124点、合計172点の入賞入選作品を展示した。 観覧者数 834人	作品募集 12月2日(火)～1月16日(金) 審査 1月26日(月) 作品展 2月17日(火)～3月1日(日) 表彰式 3月7日(土)

3. その他の事業

1	<p>○スポンサー制度 企業に観覧料相当の金銭的負担をいただき観覧料を無料とするスポンサー制度は、(株)銀の森コーポレーション、金子建築工業(株)、(株)サラダコスモの3社で金曜日に、(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタの3社で水曜日に実施した。スポンサー制度による水曜日と金曜日の観覧入場者は7,767人で、前年度より195人増え、総観覧入場者23,558人の約33.0%を占めた。</p>
2	<p>○作品の収集 ふるさとえな応援寄付金の「美術館を応援」に集まった寄付金を積み立てた市民のまちづくり基金13,376,000円を活用して恵那市が購入した以下の7点の作品を収蔵した。 (歌川広重「東都名所 佃嶋初郭公」「東都名所 日本橋之白雨」「本朝名所 相州江ノ嶋岩屋之図」「月に松上の木苑」)、葛飾北斎「諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿彌陀ヶ瀧」「新板浮絵三芝居顔見世大入之図」、溪斎英泉「岐阻街道 奈良井宿 名産店之図」 日本美術技術博物館マンガとの共同企画展「マテウシュ・コウエク さまよう街」の出品作品30点、ドローイングワークショップで描かれた作品1点をご寄贈いただき、収蔵した。</p>
3	<p>○国内外の美術館、博物館との情報共有や情報交換を通じた連携と交流 岐阜県ポーランド交流協会主催の「日本美術技術博物館マンガとの青少年交流事業」に協力し、当館学芸員1名と「広重賞 恵那市こども版画コンクール」の中学生部門で優秀な成績を収めた生徒2名が、令和8年3月26日(木)～30日(月)にポーランド共和国のクラクフ市の日本美術技術博物館マンガを訪問した。博物館施設や展覧会の視察および同館付属日本語学校の学生と文化交流を行うとともに、当館学芸員が今後の共同事業に関する協議、マテウシュ・コウエク氏の作品寄贈に伴う協定手続きを行った。</p>

4. 収益事業（収益事業等会計）

ミュージアムショップ運営

- (1) 美術館関連商品を販売した。
- (2) 展覧会関係グッズ、図録を販売した。
- (3) オリジナル商品を企画制作し、販売した。
- (4) インターネットによるグッズ・図録のネットショップ販売を行った。

5. 管理事業（法人会計）

- 1 理事会・評議員会を適切に運営した。
- 2 公益財団法人を適切に運営した。
- 3 美術館の施設・設備を適切に管理した。

2 理事会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
第1回理事会	令和7年5月20日	第1号議案	美術作品取得資金取扱規程の承認について
		第2号議案	展示用備品取得資金取扱規程の承認について
		第3号議案	令和6年度事業報告及び附属明細書の承認について
		第4号議案	令和6年度決算書の承認について
		第5号議案	定時評議員会の招集について
		報告1	職務執行状況の報告について
		協議・報告	①定時評議員会への評議員選任議案の提出について
第2回理事会	令和7年10月22日	第1号議案	就業規程の変更について
		第2号議案	育児休業規程の変更について
		第3号議案	給与等に関する規程の変更について
		第4号議案	会計処理規程の変更について
		第5号議案	展示用備品取得資金の取り崩し及び備品購入について
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②令和8年度展示・講座事業計画(案)について ③ふるさと応援寄付金による美術作品の購入について ④第22回恵那市こども版画コンクールについて
第3回理事会	令和8年3月3日	第1号議案	就業規程の変更について
		第2号議案	職員の給与等に関する規程の変更について
		第3号議案	令和8年度事業計画の承認について
		第4号議案	令和8年度予算書の承認について
		第5号議案	令和8年度資金調達及び設備投資に係る見込みについて
		第6号議案	公益目的事業の種類及び内容、収益事業の内容について
		第7号議案	臨時評議員会の招集について
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②次回の理事会の開催(案)と定時評議員会の招集(案)について ③スポンサー制度の申し込みについて ④第22回恵那市こども版画コンクールについて ⑤館長の交代及び財団嘱託職員(学芸員)の採用について

3 評議員会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
定時評議員会	令和7年6月10日	報告1	令和6年度事業報告及び附属明細書について
		第1号議案	令和6年度決算書の承認について
		第2号議案	評議員の選任に関する承認について
		報告	①令和7年度事業計画及び予算書について ②美術作品取得資金取扱規程について ③展示用備品取得資金取扱規程について

4 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和7年6月10日	岐阜地方法務局中津川支局	評議員の選任	令和7年7月7日

5 役員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
理事長	1	長谷川 佳子	平成24年4月1日
副理事長	1	小嶋 初夫	令和2年6月9日
専務理事	1	伊藤 英晃	令和4年6月10日
理事	11	市川 彰	令和2年6月9日
		大塚 康芳	平成24年4月1日
		大畑 雅幸	令和6年6月11日
		小川 智明	令和2年6月9日
		額 額 満	平成27年6月19日
		河野 ほのみ	令和4年6月10日
		津田 卓子	令和6年6月11日
		西部 良治	令和2年6月9日
		長谷川 英司	平成30年6月7日
		服藤 知晃	令和6年6月11日
堀 誠	令和4年6月10日		
監事	2	西尾 三永子	令和6年6月11日
		村松 光則	令和4年6月10日

6 評議員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
評議員	13	阿部 伸一郎	平成28年6月2日
		安藤 俊幸	平成30年6月7日
		井口 英一	平成24年4月1日
		市川 祥子	平成28年6月2日
		柘植 克久	令和7年6月10日
		各務 一彦	令和2年6月9日
		小坂 幸光	平成28年6月2日
		後藤 光男	令和4年6月10日
		菅原 真弓	令和6年11月14日
		中島 克子	令和2年6月9日
		鈴木 幸宣	令和5年6月9日
		藤井 志保	令和7年6月10日
		槇島 春枝	平成24年4月1日

7 職員に関する事項

区分	担当	人数	備考
美術館長 (嘱託・事務局長)	統括	1	
事務職員	学芸係長	1	
嘱託職員	総務係長	1	
嘱託職員	学芸員	2	内1人は令和7年12月末日退職
嘱託職員	デザイナー	1	
嘱託職員	案内・ショップ	1	
嘱託職員	案内・ショップ	1	
臨時職員	学芸補助	1	

8 運営体制の充実を図るための取組

理事の選任にあたっては、法人の事業内容に精通し、かつ法人運営に必要な専門知識・経験を有する者を選任することを基本方針としており、理事会における実質的な審議の確保に努めている。理事会の開催に際しては、各理事が十分な情報をもとに審議・意思決定を行うことができるよう、事前に正副理事長と議案の内容や進行方法について綿密な打ち合わせを行い、事務局との連絡体制を整備している。監事については、業務執行の適法性の確認及び財務諸表の監査等を通じて、法人運営に対するチェック機能の発揮に努めている。なお、外部理事・外部監事の選任については、法人のガバナンス強化の観点から今後の重要な検討課題として認識しており、内閣府が公表する『公益法人の自主的・自律的ガバナンス強化のための調査報告書』（令和7年3月）等も参照しつつ、当法人の規模・実態に相応しい運営体制の充実に引き続き取り組む。

9 附属明細書

令和7年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。